

個人 記入例

該当するものを○で囲む

塗りつぶし部分をご記入ください

第五号書式（第二十条関係）

正 副

一級
二級
木造

建築士事務所登録申請書

(第一面)

〔記入注意〕

- ※印欄は、記入しないください。
- のある欄は、該当する□の中に✓印を付けてください。
- 現登録年月日及び登録番号の欄は、更新の登録を受けようとする場合に記入してください。

| ※手数料欄 | | | |
|-------|---|---|-------------|
| 令和 | 年 | 月 | 日 |
| | | | 手数料納入済 |
| | | | 1級 ¥15,000- |
| | | | 2級 ¥10,000- |
| | | | 木造 ¥10,000- |

一級
二級
木造 建築士事務所の登録を申請します。この申請書及び添付書類の記載事項は事実と相違ありません。

提出年月日を記入
令和 3年 4月 1日

登録申請者氏名 **鹿見島 太郎**

指定事務所登録機関
一般社団法人 鹿児島県建築士事務所協会会長 殿

| | | | | |
|--------|---------------------------------------|---|--|--|
| 建築士事務所 | ふりがな 名称 | かごしまけんちくせつけいじむしょ 鹿児島建築設計事務所 | | |
| | 所在地 | 〒890-0055 鹿児島市上荒田町29番33 電話 (099) 251-9887 | | |
| | 一級建築士事務所、 二級建築士事務所又は 木造建築士事務所の別 | 一級 建築士事務所 | | |

| | | | | | |
|-------|---------|------------|--------------------|--------|--|
| 登録申請者 | 個人であるとき | ふりがな 氏名 | かごしま たらう 鹿見島 太郎 | 建築士の資格 | <input type="checkbox"/> 一級建築士 <input checked="" type="checkbox"/> 二級建築士 <input type="checkbox"/> 木造建築士 <input type="checkbox"/> なし |
| | 法人であるとき | ふりがな 名称 | | | |

| | | | |
|----|----------------------------|--|--|
| 住所 | 〒890-0055 鹿児島市上荒田町29番33 | | |
|----|----------------------------|--|--|

| | | | |
|--------|-----|--|--|
| 事務所所在地 | 〒 - | | |
|--------|-----|--|--|

| | | | | |
|--------------------|------------------------------|--------------------|--------------------------------------|-----------------|
| 建築士事務所を 管理する建築士 | ふりがな 氏名 | かごしま ごろう 鹿見島 吾郎 | 登録番号 | 100000 |
| | 一級建築士、 二級建築士又は 木造建築士の別 | 一級 建築士 | 登録を受けた都道府県名 (二級建築士又は 木造建築士の場合) | |
| | 管理建築士講習を 修了した年月日 | 平成20年11月 7日 | 修了証番号 | 088G- 01234K |

| | | |
|------------------|------------------------------------|-------------|
| 現登録年月日 及び登録番号 | 平成00年00月00日 鹿児島県知事登録 第1-22-000号 | ※ 番 査 |
|------------------|------------------------------------|-------------|

| | | | |
|---|------------------|--------------------------|--------|
| 新規 <input type="checkbox"/> 更新 <input checked="" type="checkbox"/> | ※登録年月日 及び登録番号 | 令和 年 月 日 鹿児島県知事登録 第 号 | 未記入とする |
|---|------------------|--------------------------|--------|

申請書類の訂正について
記載内容に誤りがあった場合、従来の二重線での訂正は行わず、正しい内容で作成した物を再提出していただきます。

該当するものに
チェックを入れる

二級、木造建築士の場合は、都道府県名を記入
※一級建築士の場合は
記入不要

「管理建築士講習を終了した年月日」欄は、講習会修了証の「修了年月日」欄に記載されている年月日を記入
※誤って、修了証の発行日を記入しないよう注意

更新の場合は、現在の登録年月日及び登録番号を記入
※新規登録の場合は
記入不要
また、下段の登録年月日及び登録番号欄は、新しい登録年月日及び登録番号が記載されるので、未記入にする

記入上の注意

- 平成27年6月25日の改正建築士法の施行より、第五号書式は第一面…登録申請書、第二面…所属建築士名簿、第三面…役員名簿の全3枚になりました。
※個人の場合は、第三面…役員名簿の提出は不要です。
- 管理建築士講習の修了欄について…誤って他の修了証の年月日、番号などを記入しないようご注意ください。
※管理建築士講習は「建築士定期講習」とは異なる講習です。修了証のことでご不明な点がありましたら、協会までお問い合わせください。

個人 記入例

塗りつぶし部分をご記入ください

第五号書式（第二十条関係）

（第二面）

所属建築士名簿

〔記入注意〕 全ての所属建築士についてこの書類に記入しきれない場合は、備考の「有」の口の中に✓を付けたうえで、この書類に記入しきれない部分を別紙に記入して添えてください。

| ふりがな 氏名 | 一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別 | 登録番号 | 登録を受けた都道府県名（二級建築士又は木造建築士の場合） | 構造設計一級建築士又は設備設計一級建築士である場合にあっては、その旨 | 構造設計一級建築士証又は設備設計一級建築士証の交付番号 |
|---|----------------------|-------------|------------------------------|------------------------------------|-----------------------------|
| かごしま ごろう 鹿兒島 吾郎 | 一級 建築士 | 1 0 0 0 0 0 | | 構造設計 一級建築士 | 2 3 4 5 |
| かごしま たろう 鹿兒島 太郎 | 二級 建築士 | 4 3 2 1 | 鹿兒島県 | | |
| | 建築士 | | | | |
| | 建築士 | | | | |
| | 建築士 | | | | |
| | 建築士 | | | | |
| | 建築士 | | | | |
| | 建築士 | | | | |
| | 建築士 | | | | |
| | 建築士 | | | | |
| | 建築士 | | | | |
| | 建築士 | | | | |
| (備考) 有 <input type="checkbox"/> | | | 一級建築士 | 1 名 | |
| | | | 二級建築士 | 1 名 | |
| | | | 木造建築士 | 名 | |
| | | | 構造設計一級建築士 | 1 名 | |
| | | | 設備設計一級建築士 | 名 | |
| 別紙 無 <input checked="" type="checkbox"/> | | 計 2 名 | | | |

建築士の氏名に旧字を含む場合、記入間違いがないように注意
例) 崎↔崎
恵↔恵
高↔高
徳↔徳

構造設計一級建築士、設備設計一級建築士をお持ちの場合は免許証の番号を記入

二級、木造建築士の場合は、都道府県名を記入
※一級建築士の場合は記入不要

ふりがなも記入

各資格者の人数と所属建築士全体の合計人数を記入
※所属建築士の合計人数は、一級と構造一級など、複数資格を所持している者については、1名扱いとする

名簿が2枚目に続く場合は「有」にチェックを入れる
※1枚のみの場合、及び2枚目以降の最後のページについては「無」にチェックを入れる

- ### 記入上の注意
- 管理建築士に限らず、鹿兒島県以外の都道府県で二級建築士又は木造建築士の資格を取得された方は、建築士免許の原本と写しを添付してください。
 - 建築士法 23 条に規定される業務（設計、工事監理その他）に従事する建築士は全員記入します。
 - 一人の建築士で1級・2級・木造、複数の資格をお持ちの場合、もっとも上の級を記入してください。
 - 全ての所属建築士についてこの書類に記入しきれない場合、名簿の2枚目以降も、この第二面の書式を添付してご使用いただけます。（この用紙をコピーし作成してください。）
 - 更新の方で、提出された所属建築士名簿の内容が、現在の登録内容と異なっていた場合、所属建築士変更届の提出が必要になる場合があります。

個人 記入例

第六号書式（第二十条関係）

添付書類（イ）

塗りつぶし部分をご記入ください

業務概要書

〔記入注意〕

- 1 最近のものから順次記入してください。
- 2 〔例〕

甲野 太郎 東京都 甲野ビル 鉄筋コンクリート造 設計及び 平成31. 4. 1
貸事務所 三階建 延500㎡ 工事監理 ～令和2. 1. 10

| 注文者 | 建築物所在地 都道府県名 | 建築物の名称 及び用途 | 構造及び規模 | 業務内容 | 期間 |
|---------|-----------------|----------------|------------------------|--------------|--------------------------|
| 鹿児島市 | 鹿児島県 | 小学校 | 鉄筋コンクリート造 4階建2,000㎡ | 設計 (部分改修) | R3. 1. 1～ R3.5.1(予定) |
| 山田一郎 | 鹿児島県 | 山田邸 専用住宅 | 木造 2階建150㎡ | 設計及び 工事監理 | H31. 4. 1 ～R2. 2. 1 |
| (株)カゴシマ | 鹿児島県 | 倉庫 | 鉄骨造 平屋建180㎡ | 設計及び 工事監理 | H30. 8. 1～ H30. 10.31 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

業務の終了日が申請日
以降になる場合は、終了
日の後に（予定）と記入

記入上の注意

1. 新規登録の場合は記入不要です。
2. 前回の登録日以降の過去5年分の業務実績について、順次記入してください。
※業務がない場合は「該当なし」とご記入下さい。
3. 件数が多い場合には、1枚におさまるように、直近の主な業務を記入してください。

個人 記入例

添付書類 (ロ)

塗りつぶし部分をご記入ください

略 歴 書

登録申請者

管理建築士

〔記入注意〕

- 1 職歴の欄は、最近のものから順次記入してください。
- 2 勤務先の欄は、自家営業の場合には自営と記入してください。

| | | | |
|-------------|---|---------------------------------|----------------------------------|
| ふりがな 氏 名 | かごしま たろう 鹿児島 太 郎 | 生年月日 | 昭和34年10月10日 |
| 建築士の資格 | 一級建築士 <input type="checkbox"/> | 登 録 番 号 4 3 2 1 | 登録を受けた都道府県名 (二級建築士又は木造建築士の場合) |
| | 二級建築士 <input checked="" type="checkbox"/> | | 鹿児島県 |
| 学 歴 | 年 月 日 | 学 校 名 及 び 学 科 名 | 卒 業 ・ 修 了 ・ 中 退 の 別 |
| | 昭和53年3月31日 | 鹿児島建築高校 建築科 | 卒 業 |
| 職 歴 | 期 間 年 月 ~ 年 月 | 勤 務 先 | 地 位 ・ 職 名 |
| | 平成8年6月~現在 | 鹿児島建築設計事務所(自営) | 代表 |
| | 平成元年4月~平成8年5月 | (有)熊本建設 | 取締役営業部長 |
| | 昭和62年4月~平成元年3月 | (株)福岡工務店 | 工務課第一係長 |
| | 昭和53年4月~昭和62年3月 | (株)東京建設 | 設計課 |

該当するものにチェックを入れる(建築士資格をお持ちでない場合は、「なし」にチェック)
※「なし」の場合、登録番号以降は記入不要

二級、木造建築士の場合は都道府県名を記入
※一級建築士の場合は記入不要

最終学歴は、日付まで詳細に記入

最終学歴は、学部名、学科名まで詳細に記入

勤務先に、自営と記入した場合は、屋号名もしくは業種名を併記し、業務内容が分かるようにする
例) 太郎建設(自営)
例) 自営(建設業)

勤務先は、建築設計にかかわらず、勤務した全ての会社名、事務所名を記入

年は和暦表記で記入

記入上の注意

1. 最終学歴が「中退」の場合、その直前の卒業学歴も併記してください。
2. 職歴は、最終学歴以降より現在まで詳細に記入し、各職歴の間に1年以上の空白期間が生じないように記入してください。※一定期間、職に就いていない期間は「無職」、「休職中」等と記入。
3. 「地位・職名」欄に記入する役職等がない場合は「所属課名」、「担当業務名」などを記入してください。
例) 「設計」、「大工」、「現場員」など。※それらも特になければ「所員」、「社員」と記入してください。

個人 記入例

添付書類 (ロ)

塗りつぶし部分をご記入ください

略 歴 書

登録申請者
管理建築士

〔記入注意〕

- 1 職歴の欄は、最近のものから順次記入してください。
- 2 勤務先の欄は、自家営業の場合には自営と記入してください。

該当するものに
チェックを入れる

二級、木造建築士の場合
は都道府県名を記入
※一級建築士の場合は
記入不要

最終学歴は、日付まで
詳細に記入

最終学歴は、学部名、
学科名まで詳細に記入

管理建築士と登録申請
者が同一の者である場
合、「申請者に同じ」と
記載することで、職歴
の記入を省略できま
す。

勤務先は、建築設計に
かかわらず、勤務した
全ての会社名、事務所
名を記入

年は和暦表記で記入

| | | | | |
|-------------|---|-----------------------|---------------------|----------------------------------|
| ふりがな 氏 名 | かごしまごろう 鹿児島 吾 郎 | | 生年月日 | 昭和43年5月11日 |
| 建築士の資格 | 一級建築士 <input checked="" type="checkbox"/> | 登録 番号 | 100000 | 登録を受けた都道府県名 (二級建築士又は木造建築士の場合) |
| | 二級建築士 <input type="checkbox"/> | | | |
| | 木造建築士 <input type="checkbox"/> | | | |
| | なし <input type="checkbox"/> | | | |
| 学 歴 | 年 月 日 | 学 校 名 及 び 学 科 名 | 卒 業 ・ 修 了 ・ 中 退 の 別 | |
| | 平成3年3月31日 | 鹿児島大学工学部建築学科 | 卒 業 | |
| 職 歴 | 期 間 | 勤 務 先 | 地 位 ・ 職 名 | |
| | 年 月 ~ 年 月 | | | |
| | 平成9年7月~現在 平成3年4月~平成9年6月 | 鹿児島建築設計事務所 (株)宮崎建設 | 設計課長 設計課 | |

記入上の注意

1. 登録申請者と管理建築士が同一の者である場合にも、管理建築士の略歴書の添付が必要です。
2. 最終学歴が「中退」の場合、その直前の卒業学歴も併記してください。
3. 登録申請者と管理建築士が同一の者である場合でも、「氏名」～「学歴」欄までは記入が必要です。
※職歴欄についてのみ、「申請者に同じ」と記入することで省略できます。
4. 職歴は、最終学歴以降より現在まで詳細に記入し、各職歴の間に1年以上の空白期間が生じないように記入してください。※一定期間、職に就いていない期間は「無職」、「休職中」等と記入。
5. 「地位・職名」欄に記入する役職等がない場合は「所属課名」、「担当業務名」などを記入してください。
例)「設計」、「大工」、「現場員」など。※それらも特になければ「所員」、「社員」と記入してください。

第六号書式（第二十号関係）
添付書類（ハ）

誓約書

登録申請者（営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者でその法定代理人（法定代理人が法人である場合においては、その役員を含む。）及び登録申請者が法人である場合における当該法人の役員を含む。）が下記のいずれにも該当しないことを誓約します。

令和3年4月1日

鹿見島太郎

登録申請者の氏名又は名称

提出年月日を記入

一般社団法人 鹿児島県建築士事務所協会会長 殿

記

- 1 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- 2 禁錮以上の刑に処せられ、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者
- 3 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられ、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者
- 4 建築士法第9条第1項第4号又は第10条第1項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消され、その取消の日から起算して5年を経過しない者
- 5 建築士法第26条第1項又は第2項の規定により建築士事務所について登録を取り消され、その取消の日から起算して5年を経過しない者（当該登録を取り消された者が法人である場合においては、その取消の原因となった事実があった日以前1年以内にその法人の役員であった者でその取消の日から起算して5年を経過しないもの）
- 6 建築士法第26条第2項の規定により建築士事務所の閉鎖の命令を受け、その閉鎖の期間が経過しない者（当該命令を受けた者が法人である場合においては、当該命令の原因となった事実があった日以前1年以内にその法人の役員であった者でその閉鎖の期間が経過しないもの）
- 7 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員又は同号に規定する暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者（9において「暴力団員等」という。）
- 8 精神の機能の障害により建築士事務所の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者
- 9 暴力団員等がその事業活動を支配する者
- 10 建築士事務所について建築士法第24条第1項及び第2項に規定する要件を欠く者
- 11 禁錮以上の刑に処せられた者（2に該当する者を除く。）
- 12 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられた者（3に該当する者を除く。）

〔記入注意〕 1 登録申請者が法人である場合には、法人の代表者の氏名を併せて記載してください。
2 2から9まで、11又は12のいずれかに該当するときは、該当事項を抹消し、かつ、上欄にその事実をできるだけ詳細に記入してください。

記入上の注意

1. 誓約書は自筆のほか、入力文字、座判・スタンプ等でも記載可能です。
2. 令和元年12月1日の「成年被後見人等の権利制限に係る措置の適正化を図るための関係法律の整備に関する法律等の施行に伴う国土交通省関係省令の整備等に関する省令」が交付され、建築士法施行規則の一部が改正されたことにより、誓約書書式が改正されました。旧書式は使用できませんのでご注意ください。（以下の誓約書は旧書式になります。）
※鹿児島県知事宛てのもの。
※誓約の項目が10項目までしかないもの。
※誓約文の法定代理人の箇所に「（法定代理人が法人である場合においては、その役員を含む。）」が追加されていないもの。
※項目2が「成年被後見人又は被保佐人」となっているもの。

個人 記入例

事務所所在地の付近見取図（2枚とも記載）

塗りつぶし部分をご記入ください



記載上の注意

- 1) 道路、目標となる建物等を明示すること。

所在地は、太枠で囲む、色を塗る、矢印で示すなどして、地図内のどこにあるか分かるようにする